

ムラ・人・農が織りなすゆがふむら・今帰仁

な き じ ん そ ん

今帰仁村

市町村コード	473065	類型	Ⅱ-0
所在地	〒905-0492 今帰仁村字仲宗根219番地		
T E L	(0980)56-2101	F A X	(0980)56-4270
ホームページ	http://www.nakijin.jp		
指定地域	辺地・農業振興・産業高度・観光促進		

〈組織〉 (令和3年3月31日現在)

村長	く だ ひ ろ な り 久 田 浩 也 任期 R6.8.22 (1期)	副村長	ひ が か つ お 比 嘉 克 雄 任期 R6.12.31 (1期)
副村長	- - 任期 - -	教育長	た ま き け い 玉 城 奎 任期 R5.6.30 (2期)

議長	ざ ま み か お る 座 間 味 薫	副議長	う え は ら ゆ う き 上 原 祐 希
議員	条例定数	現議員数	任期満了日
	11	11	R4.9.27
	常任委員会 総務文教、経済 建設	党派構成 無所属 11	- - - - - - - - - - - - - - -

R2.4.1現在	合計	普通会計	特別会計
職員	118 人	109 人	9 人
人口千人 当たり職員数	12.61 人	11.65 人	0.96 人
各4.1現在 職員数 (普通会計)	令和2年度 109 人	令和元年度 112 人	平成30年度 114 人
類似団体	-	149 (165)	147 (162)
ラス指数	91.5	91.2	91.7

※類似団体()は修正値。ラス指数の()は国家公務員の給与改定特例法による減額措置が無い場合。

〈村の花・木・鳥・魚/名所・旧跡/祭/行事等〉

村花	ハイビスカス	村木	リュウキュウマツ
村鳥	サンコウチョウ	村魚	ツノダシ
名所・旧跡	世界遺産今帰仁城跡・諸志御嶽の植物群落・乙羽岳・仲原馬場・運天森公園・古宇利大橋・ワルミ大橋		
祭り、行事	今帰仁まつり・ウンジャミ(古宇利)・今帰仁グスク桜まつり・いいな運天港いちやり場まつり・古宇利島マジックアワーRUN		
名産・特産	スイカ・ゴーヤー・花卉・マンゴー・ぶどう・えのき茸・モズク・泡盛(古里)・もろみ酢・アグー・肉用牛(子牛)・パインアップル		
姉妹都市	鹿児島県和泊町、鹿児島県知名町		
その他	-		

〈広域市町村圏・広域計画〉

北部広域市町村圏
-
-
-

〈基地面積〉 (R2.3末)

米国軍	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	0.0%
自衛隊	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	0.0%
合計	0.0 ha 0.0%
県面積に占める割合	0.00%

〈概要〉

県下 16 位	総面積 R2.10.1	耕地 R2.7.15	宅地 R2.1.1
	39.93 km ²	799 ha	2,691,471 m ²

県下 24 位	住基人口 R2.1.1	H27国調人口	H22国調人口
	9,356 人	9,531 人	9,257 人
年少人口割合	15.1% (県全体 17.5%)		高齢化率 28.1% (県全体 19.6%)

住基世帯数 R2.1.1	H27国調世帯数	H22国調世帯数
4,377 世帯	3,490 世帯	3,368 世帯

有権者数 R3.3.1	男	女
7,629 人	3,915 人	3,714 人

沿革

明治41年4月1日	村制施行
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-

〈基本構想〉

基本構想	H24~R3	中長期財政計画	無
基本計画	H29~R3	(- -)	
実施計画	-	(- -)	

〈令和3年度主要事業〉

(百万円)

区分	事業名	新・継	事業費
単独	今帰仁村新庁舎建設事業	継続	1,931
補助	村営湧川第2団地新築事業	継続	309
補助	漁村地域整備交付金事業	継続	120
-	-	-	-

〈今後の主要プロジェクト〉

(百万円)

区分	事業名	実施年度	事業費
単独	今帰仁村新庁舎建設事業	R元~R3	2,314
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

〈教育〉 (令和2年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
公立幼稚園	1園	145人
私立幼稚園	1園	0人
公立小学校	3校	572人
中学校	1校	300人
公立	1校	300人
公立以外	0校	0人

〈医療〉 (令和元年度)

区分	施設数	病床数
病院	1箇所	120床
公立	0箇所	0床
公立以外	1箇所	120床
診療所	4箇所	0床
公立	0箇所	0床
公立以外	4箇所	0床
住民千人当たり病床数		12.8床

〈財政〉

① 決算収支 (百万円)

区分	H29年度	H30年度	R元年度
歳入総額	7,884	7,186	6,867
歳出総額	7,672	6,930	6,587
形式収支	212	256	281
実質収支	190	232	232
比率	6.1%	7.7%	7.8%
積立金	157	129	195
積立金取崩額	157	117	286
実質単年度収支	△ 105	54	△ 91

③ 公営事業会計等における繰入金の状況 (R元年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金	うち財源補填的繰入金
国民健康保険事業	0	215	84
老人保健医療事業	0	0	-
介護保険事業(保険)	0	0	-
後期高齢医療事業	0	39	-
区分	実質収支	繰入金	うち標準外繰入
法非適	-	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
法適	上水道事業 △ 17	209	158
-	0	0	0
-	0	0	0

④ 歳入の状況 (R元年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	710	10.3%
地方譲与税	47	0.7%
地方交付税	2,155	31.4%
普通交付税	1,959	28.5%
特別交付税	195	2.8%
国庫支出金	766	11.2%
県支出金	1,189	17.3%
地方債	319	4.6%
その他	1,681	24.5%
歳入総額	6,867	100.0%

⑤ 歳出の状況 (R元年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	888	13.5%
物件費	1,399	21.2%
扶助費	719	10.9%
補助費等	876	13.3%
公債費	384	5.8%
普通建設事業費	1,180	17.9%
補助事業費	1,107	16.8%
単独事業費	73	1.1%
その他	1,141	17.3%
歳出総額	6,587	100.0%

〈産業〉 ① 産業別就業者数 (H27国調)

区分	就業者数	構成比
第1次	1,040人	24.6%
第2次	576人	13.6%
第3次	2,612人	61.8%
合計	4,228人	100.0%

〈福祉〉

区分	施設数	収容定数
保育所(R2.4.1)	3箇所	300人
公立	1箇所	90人
公立以外	2箇所	210人
生活保護率(R元年度平均) 人口千人当たり		18.57人

② 村内総生産 (H29年度実数)(百万円)

分類	純生産	構成比
農林	2,020	11.3%
水産	93	0.5%
鉱・製造	744	4.1%
建設	4,106	22.9%
電気ガス水道廃棄物	355	2.0%
運輸・郵便・通信	384	2.1%
卸売・小売	580	3.2%
金融保険不動産	2,086	11.6%
宿泊・飲食サービス	1,131	6.3%
専門・科学技術支援	718	4.0%
公務・教育	2,511	14.0%
保健衛生社会	1,856	10.3%
その他サービス	1,360	7.6%
合計	17,944	100.0%

② 主要指標 (百万円)

区分	H29年度	H30年度	R元年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財政力指数	0.23	0.25	0.26	26	0.39	0.55	0.33
標準財政規模 a	3,109	2,998	2,963	27	8,519	23,170	3,148
経常収支比率	79.5	91.7	94.3	37	89.6	91.1	86.0
人件費	25.2	24.9	24.9	21	23.6	22.9	25.4
扶助費	5.1	3.7	4.6	16	17.2	20.6	8.5
公債費	14.4	13.6	12.4	11	14.1	14.3	13.3
物件費	10.9	20.3	21.1	37	15.1	14.8	16.1
その他	23.9	29.2	31.3	40	19.6	18.5	22.7
実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
実質公債費比率	9.9	9.5	9.5	35	7.5	8.0	6.4
将来負担比率	16.1	-	-	-	23.0	39.9	-
税徴収率	95.8	95.9	95.0	30	0.0	0.0	0.0
現年課税分	98.1	97.9	97.1	35	0.0	0.0	0.0
滞納繰越分	42.6	44.4	40.0	15	0.0	0.0	0.0
債務負担行為額 b	80	58	58	-	-	-	-
b/a %	2.6	2.0	2.0	-	-	-	-
地方債現在高 c	3,085	3,024	2,977	-	-	-	-
c/a %	99.2	100.9	100.5	4	-	-	-
積立金現在高	1,420	1,766	1,737	-	-	-	-
財政調整基金	510	521	431	-	-	-	-
減債基金	38	38	38	-	-	-	-
その他特目基金	872	1,206	1,268	-	-	-	-
住民1人当たり税負担(円)	69,136	73,004	75,848	3	-	-	-
自主財源比率	26.1	31.3	32.1	20	-	-	-

〈行政の特色〉

すべての人が健康で安心して暮らせる生活環境の整備を推進し、伝統文化の継承や生涯学習の機会を創出することにより、人々の交流の活性化を目指します。また、基幹産業である農業の更なる拡充を図りつつ、商工業や観光業など他産業との連携を強化し、経済的自立と産業の振興を図ります。「ムラ・人・農が織りなすゆがふむら・今帰仁」を将来像としています。